

保育所における自己評価

【 沓谷おひさまの森保育園 】

A：たいへんよい B：よい C：一部検討を要する D：改善を要する

項目	内容	評価				意見
		A	B	C	D	
・園の保育理念・保育方針について	園の保育理念、園の保育方針・保育目標を理解し、かつ課題を共有している		○			園全体のミーティングを通して、理念や保育方針の浸透や、保育目標の理解に繋げている。
保育について	一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した保育計画となっている	○				個々の発達の理解を深める時間をミーティング内で月に一回行っているため、個々の発達の理解が十分に行うことが出来ている。園内の清掃に関しては一人一人が意識を行い、気付いて行動に起こすことができるようにしていきたい。
	年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している	○				
	評価、資料(諸記録)を集積している	○				
	園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している			○		
	気候や子どもの活動にあわせ、温度・湿度・換気、照度など配慮している	○				
	地域の特色や季節に触れる活動を設定し、保育の中で子どもが季節感を感じるように配慮を行っている	○				
	子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています		○			
	それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している		○			
	保育についての話し合いをよくしている		○			
	それぞれの役割を把握し、チーム保育として適切な動きができています		○			
健康管理について	日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている	○				コロナ禍ということもあり、一人一人の健康観察について慎重に行ってきた。少しでも体調の変化が見られた際にはすぐに保護者への共有を徹底し、感染症拡大防止に努めることが出来た。
	玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している		○			
	乳幼児突然死症候群(SIDS)や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	○				
	園や地域の感染症の状況について、保護者に情報提供し、協力を仰ぎ、感染拡大防止に努めている		○			
行事について	行事の種類や実施回数は適切である		○			行事のねらいをしっかりと定め、子どもの育ちを止めることなく実施することに努めた。
	行事のねらいを計画や実施に十分生かしている	○				
	新型コロナウイルス感染症対策を考えた上で、適切な運営を検討している	○				

項目	内容	評価				意見
		A	B	C	D	
食育について	食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している	○				コロナ禍で給食スタッフが保育室内にいくことが出来ない代わりに動画の作成を行い、子どもたちが体の仕組みを知るきっかけとなった。
	旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	○				
	調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしている		○			
運営について	園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある		○			シフト表を活かし、打ち合わせを行えるよに段取りを組むことに努めた。
	各種会議を適切かつ効率的に進めている		○			
	打合せ回数、時間、内容は適切である	○				
保健・安全指導について	年齢別・クラス運営に生かされるような安全チェックマニュアルの整備など対策を講じている		○			避難訓練に関して、職員の動きを明確にするため計画を立て、当日の動きをイメージできるようにした。最終月には集大成として予告を行わずに実施し、職員の動き方の確認を各自で行うことが出来た。
	避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している	○				
	事故や災害に適切に対応できるマニュアルをすぐに見ることができるようにしている	○				
	廊下に落ちているものを拾ったり、トイレのスリッパを揃えたり意識している			○		
	室内の衛生、クラス廻りの清掃に心がけ気持ち良い環境に心がけている			○		
研修・研究について	発達に合わせた毎月の課題を明確にし、日常の保育の向上に生かしている	○				毎月のミーティングにてしっかりと共有やすり合わせを行い、保育で実践できることを明確に決めることが出来た。
	部内・部外研修への参加態勢を充実を図っている	○				
	研修報告を園内で実施している		○			
情報について	園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	○				個人情報保護法に基づき、各自で管理の徹底を行っている。
	個人情報にの取り扱いについて研修を行い、園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	○				
	各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理している	○				
設備について	施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている	○				掲示板の活用が不十分で正確な情報をお知らせすることが出来ずにいた。細かく情報の共有を行っていききたい。
	掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している			○		
保護者支援について	子どもの送迎時に子どもの様子を伝えあうようにしている	○				クラス担任と個人面談を行う。限られた時間内でクラスの目標を伝え年間通しての育ちを伝える時間とした。
	クラス懇談や個別懇談を行っている	○				
	入園説明会やクラスごとの懇談会などでは保育内容や目的をわかりやすく説明し、情報提供を行っている	○				
	園だよりや行事などを通し、園での様子を伝える機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	○				

項目	内容	評価				意見
		A	B	C	D	
開か	園庭や保育室等を、地域の子育て親子等に解放している					

された保育所づくりについて	職員による育児に係る「子育て相談」は充実している		○			挨拶について職員全体で考える時間を作り、どんな挨拶が適しているのか考えて実践していった。地域への発信ももっと行っていきたい。
	医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している		○			
	中高生の職場体験や実習生の受入を体制について、その意義や方針を全職員が理解している					
	来客や地域の方に明るく挨拶をしている		○			
情報発信について	園だより、ホームページ等で、情報発信に努めている			○		園のことを知ってもらえるものでもあるので、もっと、園内のことを発信していきたい。
	地域の小学校や専門施設と連携をとり、地域で子どもを育む努力をしている		○			

今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止について、子どもたちはもちろん、保護者のみなさまのご協力、ご理解をいただくことが多くありました。ここに通うみなさまの毎日を、一緒に考え守っていくことが出来たことを心より感謝申し上げます。次年度も感染症対策を基盤に、これまで努力してきた『育ちを止めない』をより進化させていきたいと考えております。